

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
緑の精神回廊地区

平成22年8月

静岡県掛川市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	来訪者数	人/年	432,890	476,000	517,970	確定 見込み ●	○	あり なし -	462,968	H22年3月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	掛川城周辺の各種施設整備や回遊ルートの修景整備が進められることにより、城郭エリアの回遊性が高まり、来訪者の増加につながった。
指標2	交流センター(竹の丸)利用者数	人/年	0	10,000	124,767	確定 見込み ●	○	あり なし -	30,047	H22年5月	○	確定値の見込推計が甘かった。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	掛川城周辺の各種施設整備や回遊ルートの修景整備が進められていることも影響して、交流センター(竹の丸)を訪問意向が高まった。
指標3	景観に配慮した快適空間率	%	0	80	100	確定 見込み ●	○	あり なし -	100	H21年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	逆川堤防遊歩道の整備が完了したことにより、目標値を達成した。
指標4	来訪者の滞留時間	時間/台	1.5	2	1.46	確定 見込み ●	×	あり なし -	2.74	H22年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	城郭エリアの来訪者数やバス駐車台数自体は増えているが、その滞留時間は近年横ばいで推移している。尚、平成21年6月に竹の丸がオープンしたため、その影響で滞留時間増加につながった。
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1 【指標3補完】	遊歩道歩行者通行量	人/時間	-	/	平日: 80.3 休日: 50.8	確定 見込み -	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前値との比較は出来ないが、逆川堤防遊歩道の整備により、逆川沿いを散策する市民の数は増えている印象を受ける。
その他の数値指標2 【指標3補完】	遊歩道歩行者快適度	%	-	/	86.8	確定 見込み -	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	大半の市民が逆川沿いの快適度(歩きやすさや緑の景観など)は向上したと感じている。
その他の数値指標3				/		確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	「竹の丸」の運営充実	・NPO法人による竹の丸の管理運営における指定管理者制度の導入 ・竹の丸におけるイベント等の実施(各種展示催し)	交流センター(竹の丸)の利用者数が目標10,000人に対し、30,047人になった。	特になし
	住民参加による遊歩道・公園の維持管理	特になし	特になし	・整備した公園施設の維持管理について、指定管理者制度の導入検討も含めた、地元住民の活動参加
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	中心市街地の活性化	特になし	特になし	・掛川駅北側における市街地再開発事業の推進により、土地利用の高度化と居住機能・商業機能・公共公益機能等の多様な都市機能の集積を図り、定住と集客のまちづくりを進めた、中心市街地の活性化

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
掛川駅舎整備事業	昭和8年に建築された東海道本線では唯一の木造駅舎を耐震化する。現存の歴史的な木造駅舎の形態を残しつつ整備を行う。	22年度	利用者の安全を図るための耐震整備事業であると同時に、歴史的建造物を残すことにより、景観などからまちの価値を高める資源として期待される。
かけがわ地域交流センター整備事業	掛川駅前東街区市街地再開発事業の床取得と交流センターを整備する。市民活動の活性化と共同によるまちづくりの拠点として多目的ホール、会議室、相談室、展示コーナー、ミーティングコーナー等を中心とした施設整備を行う。	24年度	地域住民の集客が図られ、施設周辺の歩行者通行量の増加につながる。地域のコミュニティの再生に寄与するとともに、新たな地域文化の醸成に有効かつ必要な施設である。
城内広場整備事業	城内広場、駐車場を一体的に整備する。	23年度	まちなかの人の交流、人の回遊を促すことができ、掛川市の歴史、伝統をより強くアピールし、来街の動機づけが多様となるなどの効果があり、中心市街地に必要な施設である。